

瀬戸内海環境保全特別措置法に 基づく事前評価に関する書面

令和 7 年 10 月 21 日

申請者の住所及び氏名（法人にあっては所在地、名称、代表者名）

山口県周南市開成町4988番地
東ソー・ファインケム株式会社
代表取締役社長 松島聡介

1. 許可申請の概要

(1) 工場の概要

工場又は事業場の名称	東ソー・ファインケム株式会社 第3工場																															
所在地	山口県周南市開成町4988番地																															
業種	合成香料 合成香料中間体 農薬 有機化学工業 メタン誘導品製造業	従業員数		171人																												
主要製品名	香料 農薬 有機化学工業製品 メタン誘導品																															
特定施設 (番号・名称・基数)	<table><thead><tr><th>施設番号</th><th>名称</th><th>基数</th></tr></thead><tbody><tr><td>31-ハ</td><td>メタン誘導品 洗浄施設</td><td>2基</td></tr><tr><td>41-イ</td><td>香料製造業 洗浄施設</td><td>5基</td></tr><tr><td>46-イ</td><td>その他有機化学工業製品製造業 水洗施設</td><td>15基</td></tr><tr><td>46-ロ</td><td>その他有機化学工業製品製造業 ろ過施設</td><td>3基</td></tr><tr><td>46-ニ</td><td>その他有機化学工業製品製造業 廃ガス洗浄施設</td><td>7基</td></tr><tr><td>71の6</td><td>ジクロロメタンの蒸溜施設</td><td>7基</td></tr><tr><td colspan="3">(ダイオキシン特措法)</td></tr><tr><td>17-ロ</td><td>フロン類の破壊の用に供する施設 廃ガス洗浄施設</td><td>3基</td></tr></tbody></table>					施設番号	名称	基数	31-ハ	メタン誘導品 洗浄施設	2基	41-イ	香料製造業 洗浄施設	5基	46-イ	その他有機化学工業製品製造業 水洗施設	15基	46-ロ	その他有機化学工業製品製造業 ろ過施設	3基	46-ニ	その他有機化学工業製品製造業 廃ガス洗浄施設	7基	71の6	ジクロロメタンの蒸溜施設	7基	(ダイオキシン特措法)			17-ロ	フロン類の破壊の用に供する施設 廃ガス洗浄施設	3基
施設番号	名称	基数																														
31-ハ	メタン誘導品 洗浄施設	2基																														
41-イ	香料製造業 洗浄施設	5基																														
46-イ	その他有機化学工業製品製造業 水洗施設	15基																														
46-ロ	その他有機化学工業製品製造業 ろ過施設	3基																														
46-ニ	その他有機化学工業製品製造業 廃ガス洗浄施設	7基																														
71の6	ジクロロメタンの蒸溜施設	7基																														
(ダイオキシン特措法)																																
17-ロ	フロン類の破壊の用に供する施設 廃ガス洗浄施設	3基																														
排水量 (変更前)	通常	1038.7 m ³ /日	最大	1045.1 m ³ /日																												
排水量及び負荷の増減	増減無し (本計画で生じる汚水又は廃液は全て産業廃棄物処理)																															
排水処理施設の種類及び数	<table><thead><tr><th>(No.1排水口)</th><th>(No.3排水口)</th></tr></thead><tbody><tr><td>①総合排水処理施設</td><td>①排水処理塔 活性炭充填塔 1基</td></tr><tr><td>凝集浮上分離槽 2基</td><td>②排水処理設備</td></tr><tr><td>曝気槽 1基</td><td>石灰石反応槽、廃水槽、混和槽、</td></tr><tr><td>砂ろ過槽 1基</td><td>凝集沈殿槽、処理水槽 各1基</td></tr></tbody></table>					(No.1排水口)	(No.3排水口)	①総合排水処理施設	①排水処理塔 活性炭充填塔 1基	凝集浮上分離槽 2基	②排水処理設備	曝気槽 1基	石灰石反応槽、廃水槽、混和槽、	砂ろ過槽 1基	凝集沈殿槽、処理水槽 各1基																	
(No.1排水口)	(No.3排水口)																															
①総合排水処理施設	①排水処理塔 活性炭充填塔 1基																															
凝集浮上分離槽 2基	②排水処理設備																															
曝気槽 1基	石灰石反応槽、廃水槽、混和槽、																															
砂ろ過槽 1基	凝集沈殿槽、処理水槽 各1基																															

(2) 特定施設野設置(変更)の理由及び概要

弊社では、実験室レベルの製品を、小スケールでの生産に合わせた設備での製造を計画しております。その中で特定施設の設置を行いますので、申請を行います。なお、特定施設から排出される廃液(汚水)は全量産業廃棄物として、処理委託を行いますので排水組成、汚濁負荷量に変更はありません。

(3) 排水口における排出水の汚染状態及び量が減少(変わらず)の場合は理由

本計画で設置する特定施設にて発生する汚水・排液は、海域へ放出することなく、産業廃棄物として取り扱うので、排出口における排出水の汚染状態及び量は変わりません。

2. 施行規則第4条第1項の既定に関する事項

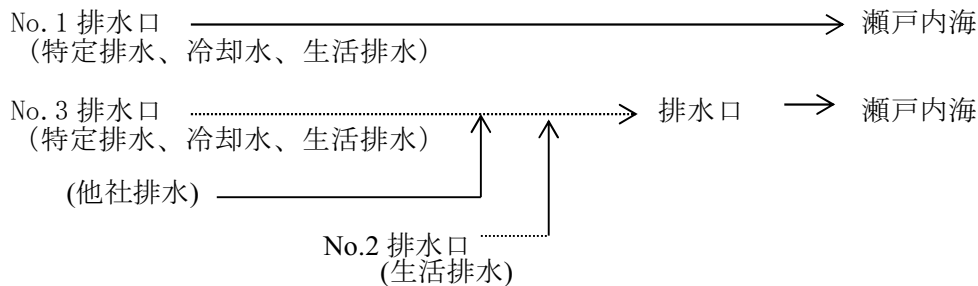
(1) 工場又は事業場からの排水経路並びに工場又は事業場の排水口の位置及び数

ア 排水口の位置 添付図 別図1のとおり

イ 排水口の数 3 カ所

ウ 排水系統及び水系図の略図

添付図 別図2-1、別図2-2のとおり



(2) 工場又は事業場の排水口の周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準その他水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項

ア 水質汚濁に係る環境基準

(ア) 人の健康に係る環境基準

項目	カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	アルキル水銀	P C B	ジクロロメタン
基準値	0.003 mg/ℓ 以下	検出されないこと	0.01 mg/ℓ 以下	0.02 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	0.0005 mg/ℓ 以下	検出されないこと	検出されないこと	0.02 mg/ℓ 以下

項目	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン
基準値	0.002 mg/ℓ 以下	0.004 mg/ℓ 以下	0.1 mg/ℓ 以下	0.04 mg/ℓ 以下	1 mg/ℓ 以下	0.006 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	0.002 mg/ℓ 以下

項目	チウラム	シマジン(CAT)	チオベンカルブ(ベンチオカーブ)	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ふっ素	ほう素	1,4-ジオキサン
基準値	0.006 mg/ℓ 以下	0.003 mg/ℓ 以下	0.02 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	10 mg/ℓ 以下	0.8 mg/ℓ 以下	1 mg/ℓ 以下	0.05 mg/ℓ 以下

- 備考 1 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。
 2 「検出されないこと」とは、定められた方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
 3 海域については、ふっ素及びほう素の基準は適用しない。

(イ) 生活環境に係る環境基準

排出先の河川・海域名		徳山湾			
環境基準点		T-D-16			
環境基準類型		C II			
基準値	水素イオン濃度 (PH)	7.0以上 8.3以下			
	生物化学的酸素要求量 (BOD) mg/ℓ				
	化学的酸素要求量 (COD) mg/ℓ	8以下			
	浮遊物質 量 (SS) mg/ℓ				
	溶存酸素 量 (DO) mg/ℓ	2以上			
	大腸菌数 CFU/ml	—			
	n-ヘキサン抽出物質 量 mg/ℓ	—			
	全窒素 mg/ℓ	0.3以下			
	全リン mg/ℓ	0.03以下			

イ その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

(ア) ダイオキシン類対策特別措置法に基づく環境基準

排水 特定施設及び排水基準値
フロン類の破壊の用に供する廃ガス洗浄施設

排出基準 10 pg-TEQ/L

(イ) その他
特になし

(3) 工場又は事業場の各排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大値並びに当該排出水の1日当たりの通常量及び最大量並びに当該排出水の汚濁負荷量

排水口 番号又は 名称	区 分 項 目	現 状			設 置（変更）後			負荷量の 増 減
		通 常	最 大	※ 負荷量	通 常	最 大	※ 負荷量	
No. 1 排水口	排水量 m ³ /日	900	900					
	水素イオン濃度 (PH)	7	6～9					
	生物化学的酸素 要求量 (BOD)							
	化学的酸素要求 量 (COD)	29	29	26.1				
	浮 遊 物 質 量 (SS)	10	10	9				
	全 窒 素 (T-N)	17	17	15.3				
	全 磷 (T-P)	0.4	0.4	0.36				
No. 2 事務所 排水口	排水量 m ³ /日	10	10					
	水素イオン濃度 (PH)	7	6～9					
	生物化学的酸素 要求量 (BOD)							
	化学的酸素要求 量 (COD)	21	21	0.21				
	浮 遊 物 質 量 (SS)	10	10	0.1				
	全 窒 素 (T-N)	20	20	0.2				
	全 磷 (T-P)	1	1	0.01				

※ 負荷量 (kg/日) = 最大排出量 (m³/日) × 通常水質 (mg/ℓ) × 10⁻³

排水口 番号又は 名 称	区 分 項 目	現 状			設 置 (変更) 後			負荷量の 増 減
		通 常	最 大	※ 負荷量	通 常	最 大	※ 負荷量	
No. 3 排水口	排水量 m ³ /日	128.7	135.1					
	水素イオン濃度 (PH)	7.1	5.5～ 8.5					
	生物化学的酸素 要求量 (BOD)							
	化学的酸素要求 量 (COD)	7	11	0.95				
	浮 遊 物 質 量 (SS)	10	20	1.35				
	全 窒 素 (T-N)	2	2	0.27				
	全 磷 (T-P)	0.5	0.5	0.068				
	ダイオキシン類 (pg-TEQ/ℓ)	3.2× 10 ⁻⁷	1.1× 10 ⁻⁵	4.3× 10 ⁻²				
No. 2 No. 3 合計 排水口	排水量 m ³ /日	138.7	145.1					
	水素イオン濃度 (PH)	7.1	5.5～ 8.5					
	生物化学的酸素 要求量 (BOD)							
	化学的酸素要求 量 (COD)	8	8	1.16				
	浮 遊 物 質 量 (SS)	10	10	1.45				
	全 窒 素 (T-N)	3	3	0.47				
	全 磷 (T-P)	0.5	0.5	0.078				
	ダイオキシン類 (pg-TEQ/ℓ)	3.0× 10 ⁻⁷	1.0× 10 ⁻⁵	4.3× 10 ⁻²				

※ 負荷量 (kg/日) = 最大排出量 (m³/日) × 通常水質 (mg/ℓ) × 10⁻³

※ ダイオキシン負荷量 (pg-TEQ/日) = 最大排出量(m³/日) × 通常水質(pg-TEQ/ℓ) × 10³

(4) 周辺公共用水域の水質の現況及び排水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度

ア 海 域

採水機関名		分析機関名	
-------	--	-------	--

測 定 点 名											
採水年月日及び時間		項目 区分		水温(℃)	p H	COD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	T-N (mg/ℓ)	T-P (mg/ℓ)	DO (mg/ℓ)	ダ イ オ キ シ ン (pg-TEQ/ℓ)
		水	表 層								0.12
			中 層								
			平 均								0.12
		質 の 現 況	表 層								－
			中 層								－
			平 均								－
			表 層								－
			中 層								－
			平 均								－
総 平 均											
将 来 水 質											

測 定 点 名										
採水年月日及び時間		項目 区分	水温(℃)	p H	COD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	T-N (mg/ℓ)	T-P (mg/ℓ)	DO (mg/ℓ)	ダイオキシン (pg-TEQ/ℓ)
	水 質 の 現 況	表 層								
		中 層								
		平 均								
		表 層								
		中 層								
		平 均								
		表 層								
		中 層								
		平 均								
総 平 均										
将 来 水 質										

測定点名												
採水年月日及び時間		項目 区分		水温(℃)	p H	COD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	T-N (mg/ℓ)	T-P (mg/ℓ)	DO (mg/ℓ)	ダイオキシン (pg-TEQ/ℓ)	
		水 質 の 現 況	表 層									
			中 層									
			平 均									
	表 層											
	中 層											
	平 均											
	表 層											
	中 層											
	平 均											
総 平 均												
将 来 水 質												

イ 河 川

採水機関名			分析機関名							
水域・測定点名	項目 区分・日時		p H	BOD (mg/ℓ)	COD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	T-N (mg/ℓ)	T-P (mg/ℓ)	流量 (m³/日)	DO (mg/ℓ)
	月	:								
:										
日		:								
平 均										
将 来 水 質										
	月	:								
		:								
		日	:							
	平 均									
将 来 水 質										
	月	:								
		:								
		日	:							
	平 均									

将 来 水 質								
ウ その他当該水域に関する事項								

(5) 影響範囲及び予測の方法

ア 汚濁負荷量の増加の有無 (有 ・ **無**)

(ただし、汚濁負荷量の増加がない場合は、イ以下は省略する。)

イ 排水水の公共用水域での影響範囲

添付 別図 3 参照

ウ 予測の方法

ア) 海 域

(1) 新田式 ($\log (r_2 \theta / 2) = 1.226 \log Q + 0.086$) から求めた周辺公共用水域の外縁
までの距離 (r)

(2) ヨーゼフ・ゼンドナー式 { $C = 1 - \exp \left(- \frac{Q_0}{\theta d p} \left(\frac{1}{x} - \frac{1}{\ell} \right) \right)$ }
から求めた希釈率

(3) $S' = S_1 + (S_0 - S_1) \cdot C$ から将来の水質を予測すると、
($r / 3$ の地点)

($2r / 3$ の地点)

(r の地点)

イ) 河 川

$$S' = \frac{SQ + (S_0 Q_0 - S_0' Q_0')}{Q + (Q_0 - Q_0')} \quad \text{から将来の水質を予測すると、}$$

地点名 ()

$$S' (\text{BOD}) = \quad =$$

$$S' (\text{COD}) = \quad =$$

$$S' (\text{SS}) = \quad =$$

$$S' (\text{T-N}) = \quad =$$

$$S' (\text{T-P}) = \quad =$$

地点名 ()

$$S' (\text{BOD}) = \quad =$$

$$S' (\text{COD}) = \quad =$$

$$S' (\text{SS}) = \quad =$$

$$S' (\text{T-N}) = \quad =$$

$$S' (\text{T-P}) = \quad =$$

地点名 ()

$$S' (\text{BOD}) = \quad =$$

S' (COD) =

=

S' (SS) =

=

S' (T-N) =

=

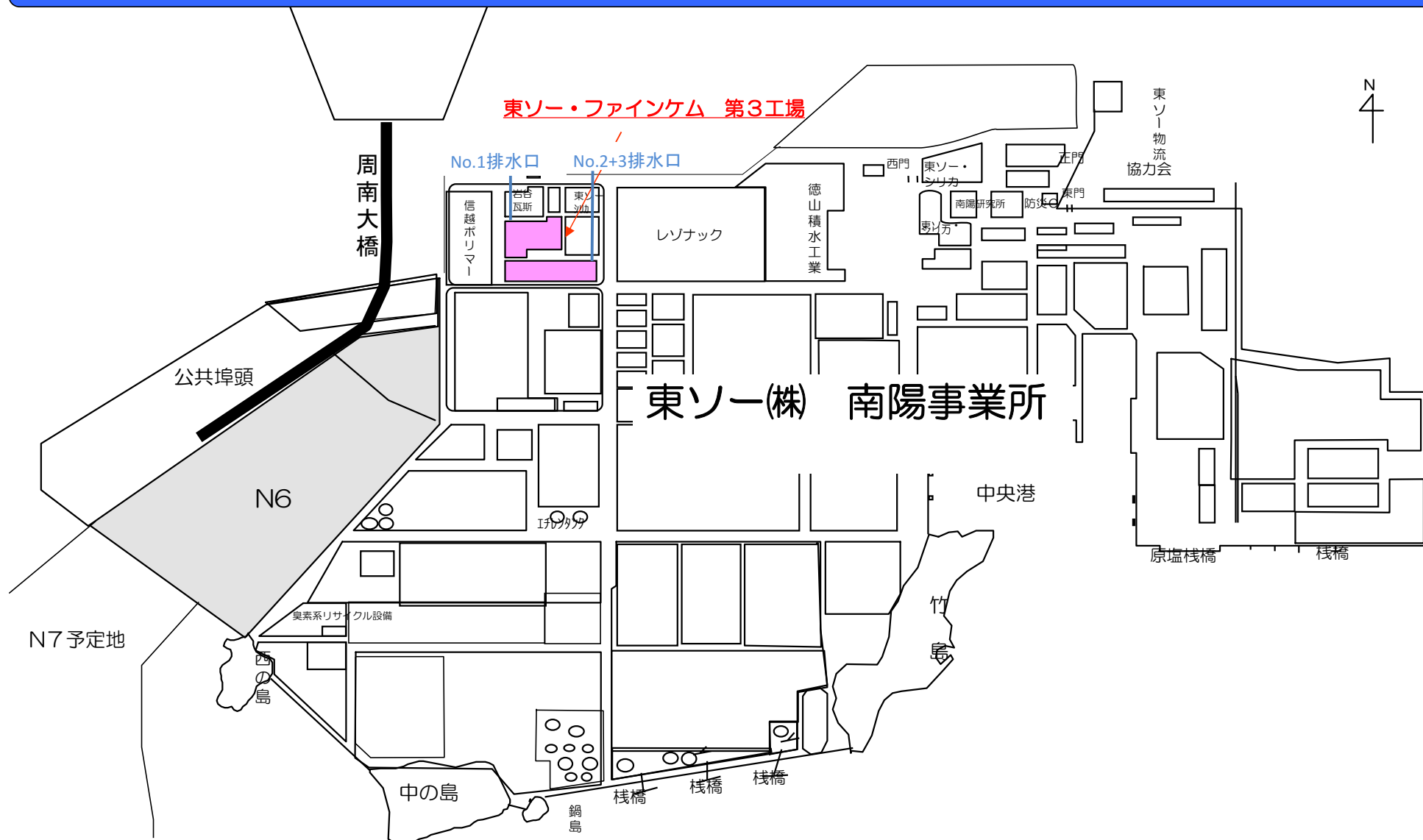
S' (T-P) =

=

(6) その他当該特定施設の設置が環境に及ぼす影響についての事前評価に関して参考となるべき
事項

なし

別図1 東ソー・ファインケム株式会社 第3工場 排水口配置図

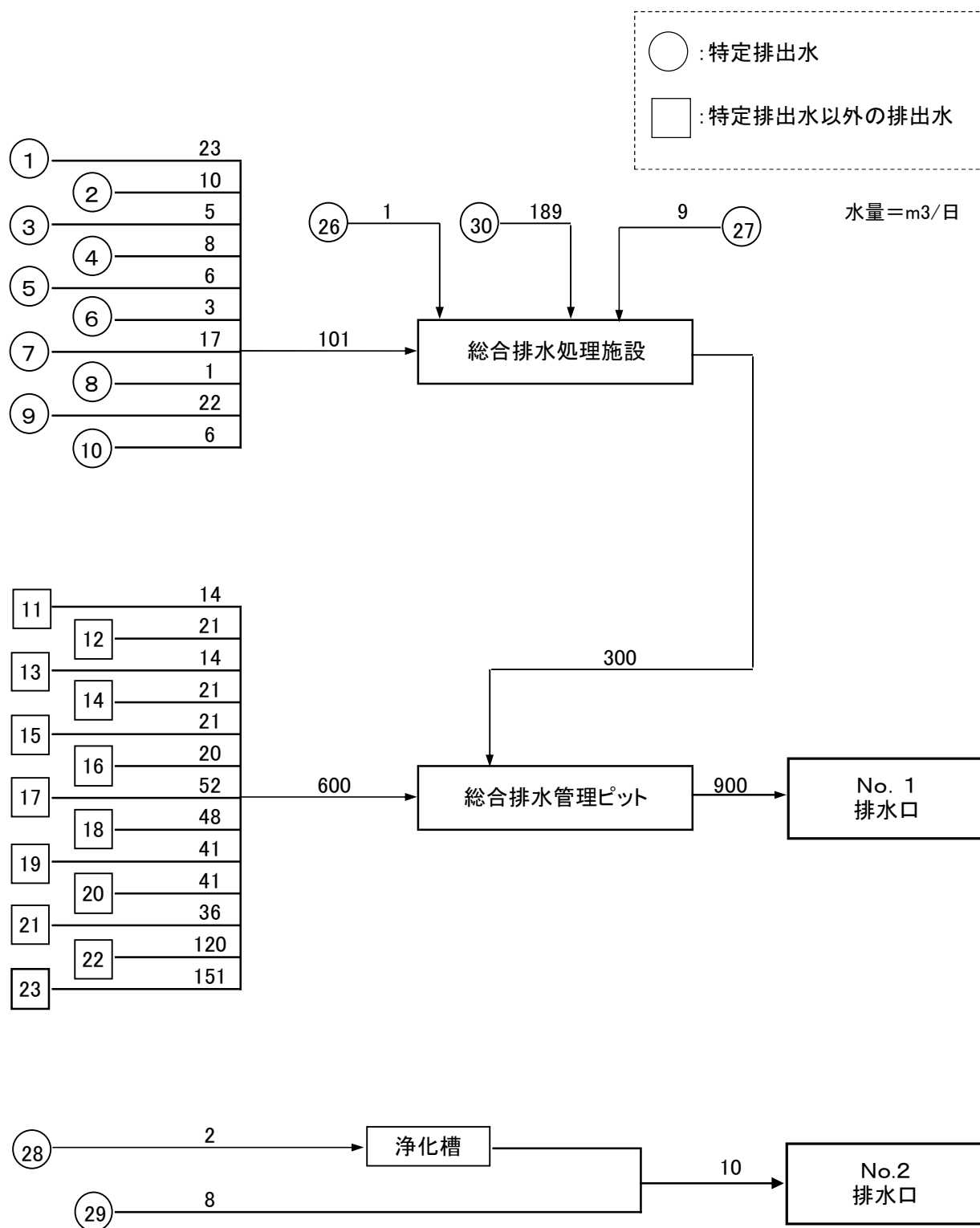


修正 有
(旧第3工場、旧第4工場表記抹消)

別図2-1

排水系統図（詳細）

修正 有
(旧第3工場、旧第4工場表記抹消)



別図2-2
用水及び排水の系統（旧第3工場）
（ダイオキシン廃液含む）

